（別紙4（2））

事業所名　　グループホーム　和

目標達成計画

作成日：　平成　30年　11月　15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33（12）	出来る限り、希望に沿い重度化や終末期におけるケアを行ってきているが、すべてに対応出来ている訳ではない。看取り介護に関する研修も中々実施出来ていない。	家族の協力、医療機関との連携、職員の研修など終末期や看取り介護の対応を整え、入居者も家族も安心して最後まで託せる事業所になるよう努める。	全職員が看取り介護に関する共通認識を持ち、一定の研修を設ける。	12ヶ月
2	35（13）	災害時の対策として、火災・地震時の対応マニュアルが整備されているが、台風・豪雨等による風水害時に対するマニュアルが整備されていない。	災害時の対策として、風水害時の対応マニュアルを追加して整備する。	事業所周辺の地形等を把握すると共に、ハザードマップ等を確認し、風水害時どこにどのような危険が潜んでいるのか災害規模に応じて予測できる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。